

広島市原子爆弾被爆実態調査研究 原爆体験者等健康意識調査概要

基本調査(郵送法)(回収率75%;71歳以上 N=14,373)

□ 原爆体験区分により6群を設定

- 被爆群(直爆群、入市群、救護・看護群)
- 黒い雨関係群(指定地域群、未指定地域群、非体験群⇒control群)

□ control群を上記とした理由

- 戦後転入者⇒群特性が不明瞭のため不適
- 原爆体験全く無いし不明の者⇒各項目の欠損割合が30~50%と多いため不適
- control群も半数以上が惨状目撃や死別を体験し、他の5群により近い特性を有しており、したがって群間差検定の条件はより厳しい

□ 測定尺度(次元の異なる3尺度)

- SF-8(PCS, MCS); K6; IES-R(Total, I, A, H)

□ 解析⇒重回帰分析(3尺度得点を従属変数)

- Step1: 区分, 基本属性要因(性別, 年齢, 居住状況, 要介護度, 世帯収入)を説明変数として投入⇒control群と他の5群間の差を検証
- Step2: 個別の原爆体験内容等17項目を投入
- Step3: 区分と体験内容の交互作用項も追加投入⇒尺度得点と個別体験要因の関連を検証

個別調査(面接調査)(71-82歳;N=869)

□ 面接時認知機能スクリーニング実施

□ 被爆群サンプリング(N=486)

- 協力同意の得られた者より層化無作為抽出(24セル:性別,年齢,IESRスコア,区分)

□ 黒い雨関係群サンプリング(N=383)

- 指定地域群と未指定地域群は協力同意の得られた者全員
- control群は未指定地域群と性別、年齢をマッチングさせ無作為抽出

□ 測定尺度(次元の異なる3尺度)

- SF-36; GHQ-28; CAPS面接
- 健康不安尺度、差別偏見尺度
- PTGI

□ 解析⇒分散分析

- 被爆3群(近距離直爆群、遠距離直爆群、間接被爆群)の群間比較
- 黒い雨関係3群(指定地域群、未指定地域群、control群)の群間比較

知見を
確認

個別調査結果:雨関係群の性比と年齢・教育年数の平均値(SD)

区分	N	男女別	年齢	教育年数
1指定地域群	63	M 46 : F 17	74.37 (2.38)	11.52 (11.39)
2未指定地域群	159	M 114 : F 45	73.91 (2.40)	11.21 (7.30)
3比較対照群	161	M 116 : F 45	73.80 (2.41)	11.77 (7.32)
	<i>p</i>	<i>ns</i>	<i>ns</i>	<i>ns</i>

個別調査結果:雨関係群の各尺度得点の平均値(SD)

区分	N	SF-PF_N 身体機能	SF-RP_N 日常役割機能	SF-BP_N 身体の痛み	SF-GH_N 全体的健康感
1指定地域群	63	36.98 (14.28)	36.43 (12.58)	42.76 (7.61)	41.66 (7.73)
2未指定地域群	159	32.48 (16.54)*	34.00 (12.69)*	43.11 (8.64)*	39.74 (9.45)*
3比較対照群	161	39.87 (15.60)*	40.32 (13.06)*	47.30 (9.30)*	43.23 (9.69)*

区分	N	SF-VT_N 活力	SF-SF_N 社会生活機能	SF-RE_N 日常生活機能	SF-MH_N 心の健康
1指定地域群	63	48.39 (7.86)	45.72 (11.09)	39.56 (11.78)	48.48 (8.98)
2未指定地域群	159	45.32 (10.39)*	42.54 (12.26)*	37.42 (14.22)*	45.57 (10.84)*
3比較対照群	161	50.06 (10.32)*	47.95 (10.63)*	43.52 (12.86)*	49.39 (9.93)*

区分	N	GHQ28	PTGI	CAPS現在	健康不安	差別体験
1指定地域群	63	6.24 (5.15)	56.08 (22.45)	3.71 (6.33)	2.81 (2.63)#	1.22 (1.78)#
2未指定地域群	159	8.27 (6.79)*	59.12 (20.12)*	6.39 (11.44)*	3.60 (4.15)*	1.94 (2.24)*#
3比較対照群	161	5.48 (5.77)*	54.60 (24.02)*	2.84 (5.09)*	1.23 (2.61)*#	0.85 (1.36)*

(注)被爆群の各尺度得点の平均値(SD)は分散分析結果資料で呈示

-:#-#: Tukey-Kramer HSD検定にてペアに有意差(<.05)あり